

ふどういちいせき

不動 I 遺跡は市内の南部、北上川との合流点近く、

豊沢川の南側に広がる台地上にあります。これまでの

はくつちようさ

発掘調査では、今から約 3,000 ～ 2,300 年前の縄文時

じようもん じ

だいばん き

代晩期の土器を埋めた跡や石で囲った炉跡が多く見つ

ろ あと

かっについて、当時のお祈りに関わる跡や住まいの跡と

みられています。遮光器土偶や亀形土製品など、この

しゃこうき どぐう かめがたどせいひん

時代に特有のモノも出土しています。また、今から約

1,200 ～ 1,100 年前の平安時代のカマドがつく四角形

へいあんじ だい

の竪穴住居跡も数棟み

つかっています。



平成 28 年度調査 土器を埋めた跡



平成 28 年度調査 遮光器土偶（下）と亀形土製品（右上）

